

华中师范大学

二〇〇七年研究生入学考试试题

招生专业 日本語语言文学 050205 研究方向 日本文学文化・日本語教育

考试科目及代码 翻译与写作

435

考试时间 3 月 21 日下午

一、次の文章を中国語に訳しなさい (満点六十点)

「あなたの文章は、ヨコ書きになると、荒れてきますね」

人にそういわれたことがある。

「なるほど、そうかもしれない」

と心の中で自分に言い聞かせた。とてもいい指摘だったと、今でも感謝している。

もつとも私は、ヨコ書きが好きで書いていたわけではない。

「ヨコ書きの雑誌なので」

編集者にそういわれて書いた結果が、右の通りとなったのだ。

しかし振り返ってみると、学生ときは必ずヨコ書きでノートをとった。

今でも学生は、みんなそうだろう。

その頃、私はこう思っていた。日本語の書き順は漢字でもひらがなでも、たいてい左上から始まって右下で終る。だからヨコ書きにするのはむしろ自然なのだ、と。

その上、二つの目玉もヨコに並んでいるではないか。

今では中学や高校の教科書でも、ヨコ書きが主流になったようだ。それに慣らされているからヨコ書きの日本語を読むのに苦勞をしないですむ。

日本史の教科書もヨコ書きだから、史料はタテ書きで掲載され、その史料の説明はヨコ書きなのである。

それほどヨコ書きを読むのに慣らされているはずなのに、原稿用紙に向かうことになる、日本語をヨコに書くのはどうしても不自然で、気分が落ち着かない。

この感覚が一層はつきりするのには、ヨコ書きの世界の外国に出て、なお日本語の原稿用紙に向かうときである。

日本で約束の原稿を書き終ることができずに、ホノルルやサンフランシスコのホテルで、外の景色を眺めながら、タテ書きの原稿用紙に書き始めるとき、あのどうしても不安定で落ち着かない気分は、一度ともう味わいたくない。

海外で暮らす新聞社の駐在員たちは、なんと器用な人種なのだろうと感心する。

結局私のタテ書き感覚は、若いときに呼んだたくさん小説の文体に、どうやら原因があるようだ。そのとき私は自分にぴつたりする文体を探し出そうとしていたのだ。

志賀直哉とか谷崎潤一郎などの異なった文体にふつかり、漱石と鷗外というこれも異質な作品群にのめり込んだ。多くの青年がそうだったように。

それで結局、最後に選んだのが鷗外だった。それには多少の理由があつて、中学の時代に漢文が好きだったこと、今でも座右に『唐詩選』をおいて、時々

声を出して呼んでいる。鷗外の文体は漢文系だと思う。

もう一つの理由は簡単で、鷗外の作品にはそのまま原稿用紙に書き写しやすい短編が多かったせいで、最初に書き写したのは『高瀬舟』である。

『阿部一族』の冒頭の一文などは、「うーむ」と思わず声を出したいほどの名文だと思うが、この小説は少し長くて書き写せなかった。

一コマ一コマ原稿用紙に書き写していくと、句読点の打ち方、行をかえる呼吸、地の文のと会話のバランス、それに全体の文章のリズムなどが、とても自然に融け込んでいく。

自分の心と身体に合った文体にめぐり合えば、やがてそれが血となり肉となってその人を形成していくものらしい。

こうしてヨコ書きを読むのには、慣れていても、書くときはタテ書きという人間が出来上がった

kaoyan.com
どうもこれには、英語をタテ書きにできないのに、日本語はヨコ書きにもできるという驚くべき特性が隠されていたようだ。

このことに気がつくまで、私はあんまりにも時間がかかりすぎた。本当はここから出発しなければならなかったのだろう。

二、次の文をに日本語に訳しなさい (満点三十点)

①、有时候，同样一篇诗或同样一句诗，会有几种不同的理解。古诗不必说，连现代诗也不例外。(場合によつては)

②、先生们过奖了，我们只是做了理应做的事情，不周到的地方，还请各位多包

涵。(あたりまえ)

③、现在大家再怎么议论也已经不顶用了。好歹明天就可以知道考试的成绩。(よかれあしかれ)

④、外语是个实践性很强的学问，必须多听、多写、多读、多译，才能切实地提高外语水平。只顾语法恐怕是不行的。(……一点ぼり)

⑤、这与他是很合适的工作。她虽然能力不算强，但办事仔细，也很认真。(……に適する)

⑥、即使你是经理，你恐怕也是能那样吧。除此之外还有什么更好的选择呢？(仮に……としても)

⑦这次口试他没有好好准备，对于先生的提问，他似懂非懂，只好连猜带蒙地回答，看来大部分都答错了。(あてずっぽうに)

⑧、大家对她的印象说起来算是好的。只是他平日很少说话，也不与大家来往，所以她与大家的关系不算亲密。(どちらかといえば)

⑨、他母亲是个著名的国画家，善长画花鸟和山水。他从小耳濡目染，掌握了画画的本领。(みようみまね)

⑩、这东西的价钱贵还是不贵姑且不说，你就说喜欢还是不喜欢吧，怎么这么啰里啰唆的。(……別として)

三、作文 「私の人生と日本語」(満点六十点)。

注意点：①文体は自由であること。②字数は八〇〇字以上、一二〇〇字以内
にすること。③、氏名、テーマ、改行などの空白は字数に含まれないこと。